

1 定期健康診断における歯科検診

- ・小学校、中学校、高等学校、特別支援学校では、毎年4～6月に定期健康診断を実施（但し、R2～6年度については年度末までに実施）
- ・定期健康診断では、歯・歯列・咬合・顎関節・歯垢・歯肉の状態について学校歯科医が検診

2 指定校における調査研究「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」

中能登町立鹿西小学校(令和7・8年度) 公益社団法人 日本学校歯科医会事業

令和7・8年度 中能登町立鹿西小学校 研究概要
<p>1 学校の教育方針</p> <p>【教育目標】ふるさと鹿西に愛着と誇りを持ち、未来を切り拓く資質・能力の育成 ～主体的・対話的に学び合い、自分を磨き上げる児童の育成～</p> <p>2 研究主題及び研究活動の重点事項</p> <p>【歯科保健目標】歯と口の健康の保持増進に必要な知識や技能の習得、身近な健康問題や健康な生活に対する実践的な能力と態度を育てる</p> <p>3 今年度の取組計画</p> <p>(1) 保健教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯と口の健康づくりの全体計画の作成 ・学校歯科医と養護教諭による授業 ・標語の作成（全校） ・動画を活用した歯みがき指導 ・生徒指導担当教諭と養護教諭による授業 ・安全指導（歯・口のケガ） ・担任と栄養教諭による授業 ・食習慣調査 ・発達段階に応じた給食の食べ方指導 ・給食の「カミカミメニュー」を通した噛むことの大切さの指導 <p>(2) 保健管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健目標や給食目標に向けた取り組み ・掲示物や保健だより等 ・歯科検診 ・安全点検 ・発達段階に応じた保健指導 <p>(3) 組織活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯と口の健康づくりを学校研究に位置づけ、全職員の共通理解のもと効果的な実践を図る ・児童の実態や学校での取組をお便りや学校説明会で啓発 ・歯みがきと噛む取組を家庭で実施 ・保健安全部会において、取組状況等の確認を行い、改善に向けた対策を協議し、全教職員に共通理解を図る ・地域、保護者との連携（コミュニティ・スクールの活用） ・学校保健委員会（歯科保健について研修会）

3 「第66回よい歯の学校運動」（主催：県学校保健会、県歯科医師会）

(1) よい歯の学校表彰

- ・郡市学校保健会より推薦のあった学校を県審査会において審査を行い表彰。（11月8日）
- ・応募条件を満たすため、あるいは上位入賞を目指して、むし歯予防や治療率を向上させる取組が各学校で行われている。
- ・郡市学校保健会表彰は、昨年度に引き続き、地域全体で取り組み、応募率、平均点ともに優れている羽咋郡学校保健会を表彰。

(2) 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

- ・県内の小学生を対象に募集を行い、優秀な作品を県大会で表彰し、全国へ推薦する。

4 学校歯科保健の課題及び対策

むし歯（う歯）被患率は、前年度と比べると全ての校種で減少しているが、中学校・高等学校では全国平均を上回っている。DMF歯数（12歳）は、前年度より減少し、全国平均より少ない本数となっている。また、小学校では歯垢及び歯肉の状態、中学校では歯垢の状態、高等学校では歯列・咬合、顎関節、歯垢、歯肉において、要受診者の割合が全国平均を上回っている。

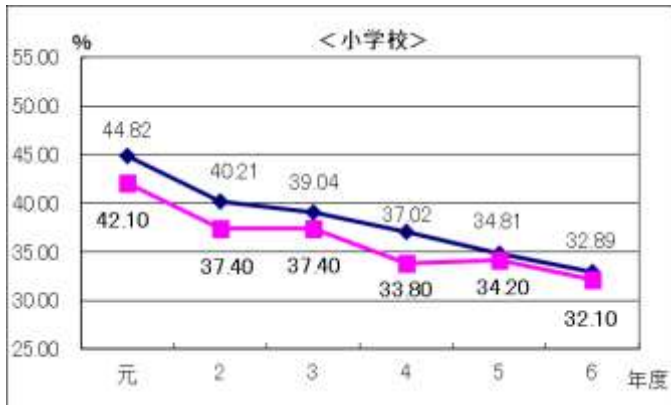
学校における歯科保健は、むし歯（う歯）の予防を中心に取組が行われてきたが、近年の子供の現状を踏まえると、咀嚼や嚙みなど口腔機能の未発達や口腔の疾病の増加、食育の重要性などが指摘されており、その指導や対策についても、今後、一層の充実が求められる。

<資料>

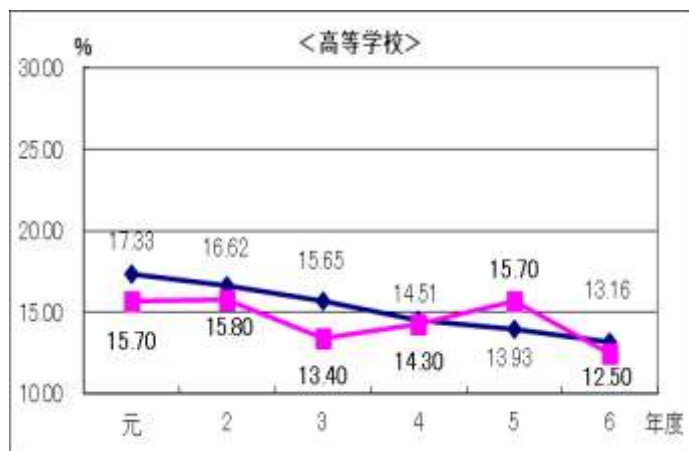
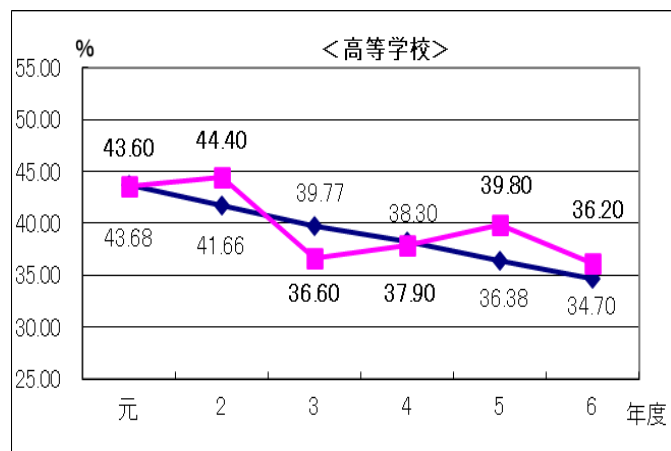
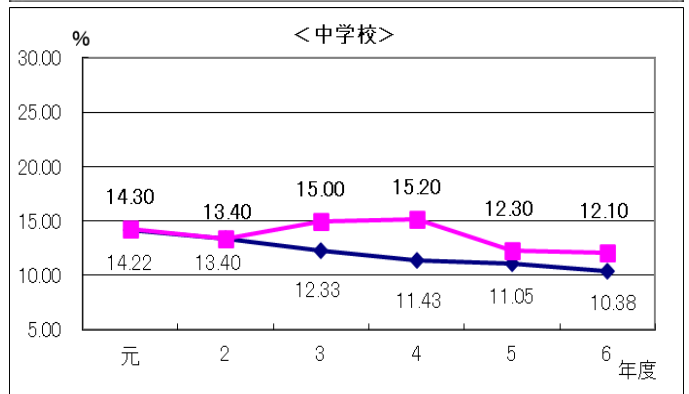
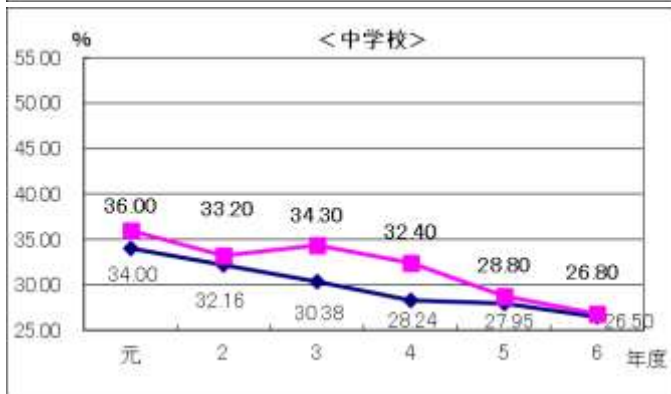
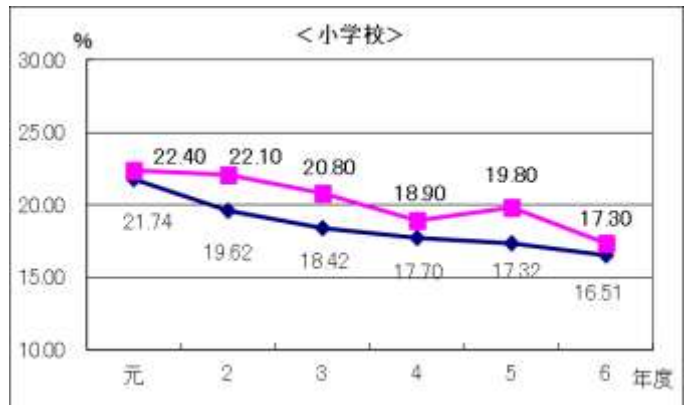
「むし歯(う歯)」の被患状況

◆ 全国 ■ 石川県

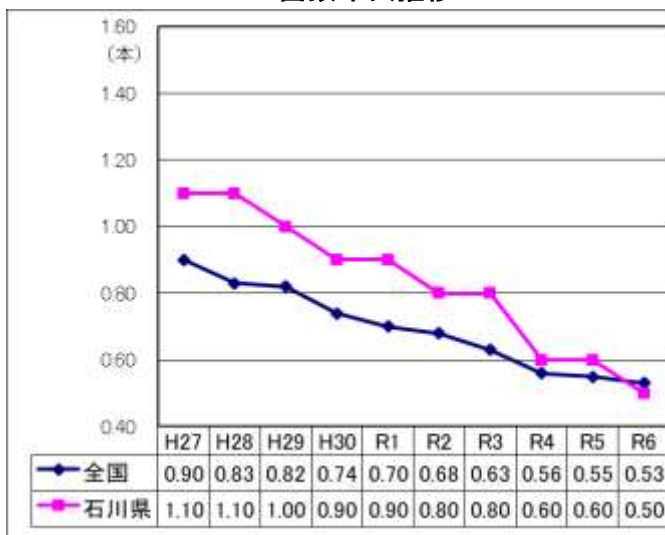
むし歯(う歯)の処置完了と未処置歯のある者の推移



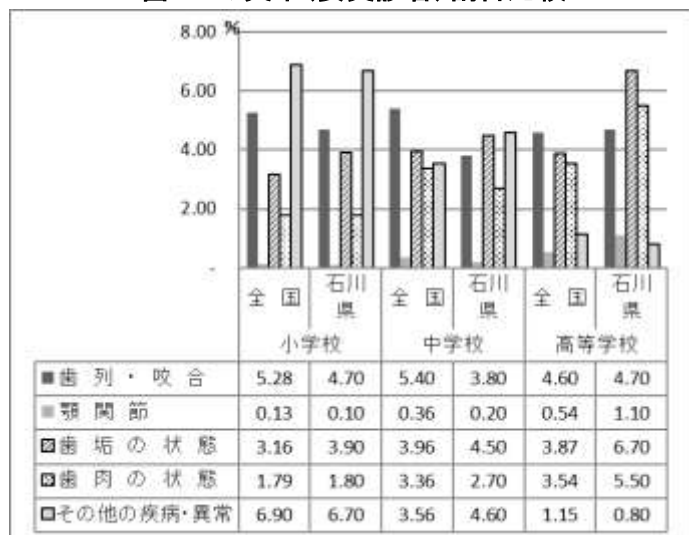
未処置歯のある者の推移



DMF歯数年次推移



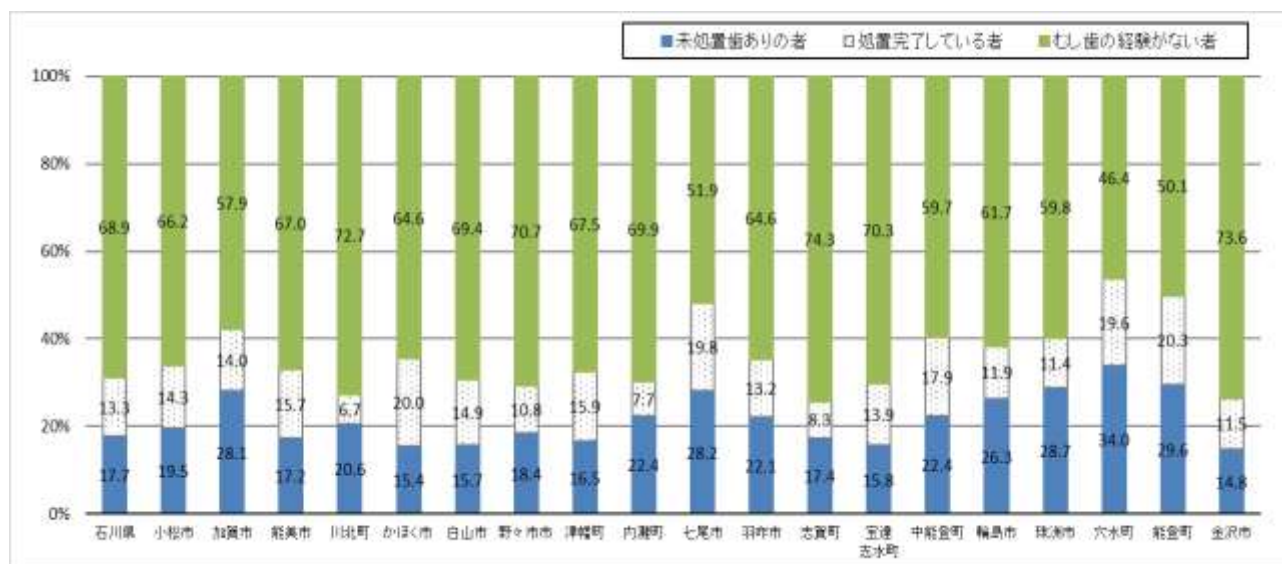
歯・口の異常(要受診者)割合比較



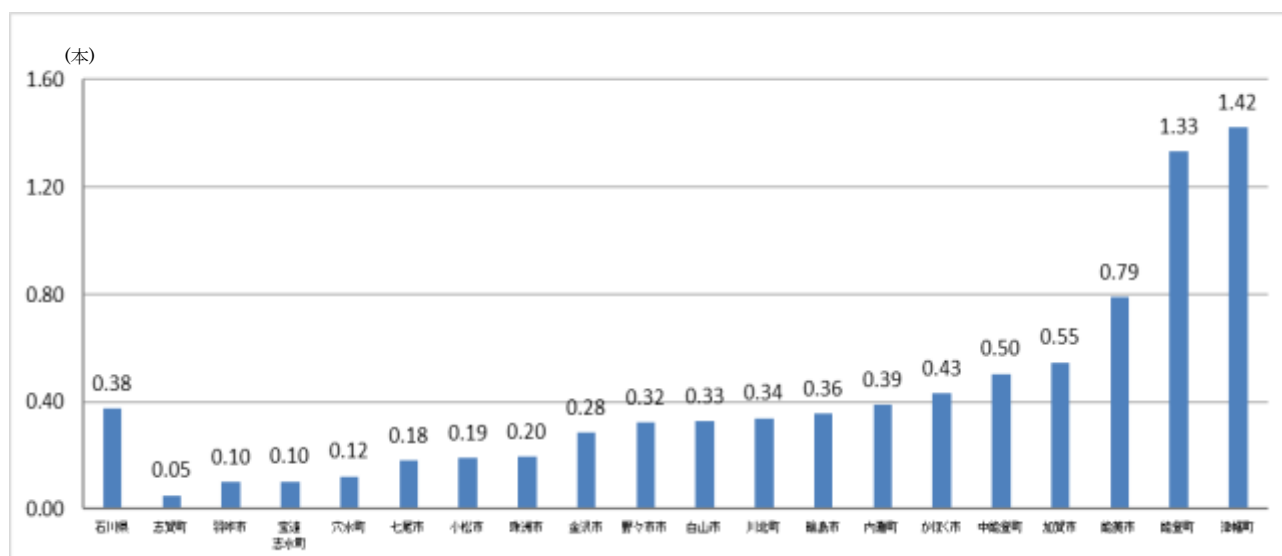
学齢期の歯科疾患の罹患状況に関する市町別データ 【出典：よい歯の学校運動調査結果】

- 石川県学校保健会と石川県歯科医師会が実施している「よい歯の学校運動」の調査結果を分析し、小学生と中学生の歯科疾患罹患状況を市町別に算出した。
- むし歯の経験がない者の割合は、多くの市町において小学生より中学生が高くなっているが、中学生の間に乳歯から永久歯への生え替わりが完了することが影響していると思われる。
- 小学3年生（8歳児）と中学1年生（12歳児）の永久歯の一人平均むし歯数を算出したところ、市町間でむし歯数に差がみられた。
- 歯肉・歯垢の状況等については、市町ごとのばらつきが大きい。
- 小学生と中学生のむし歯罹患状況の経年変化をみると、多くの市町において、むし歯の経験がない者の割合は、経年的に増加する傾向にある。
- 児童・生徒数が少ない市町があることから、引き続き経年的な変化等を観察する必要がある。

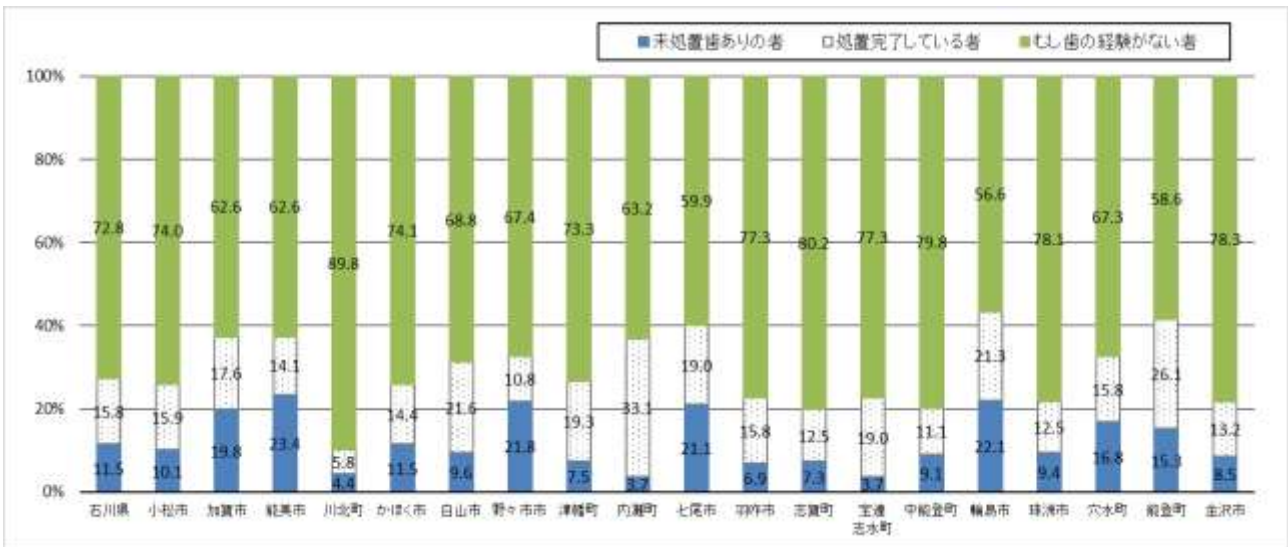
(1) 令和7年度の小学生のむし歯の罹患状況 (%)



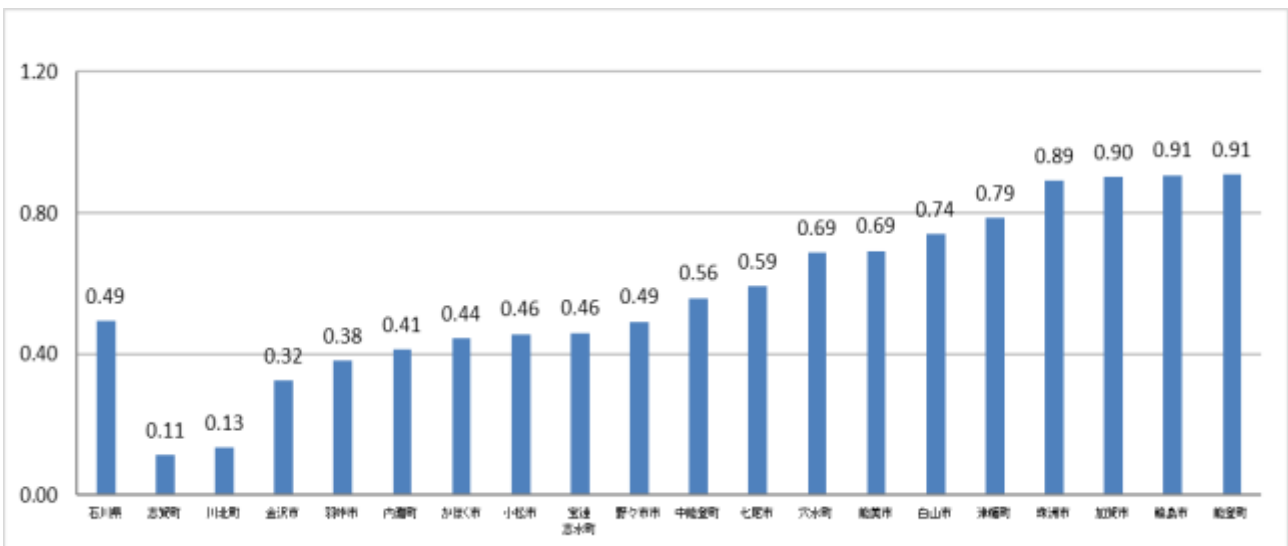
(2) 令和7年度の小学3年生（8歳児）の永久歯の一人平均むし歯数（本）



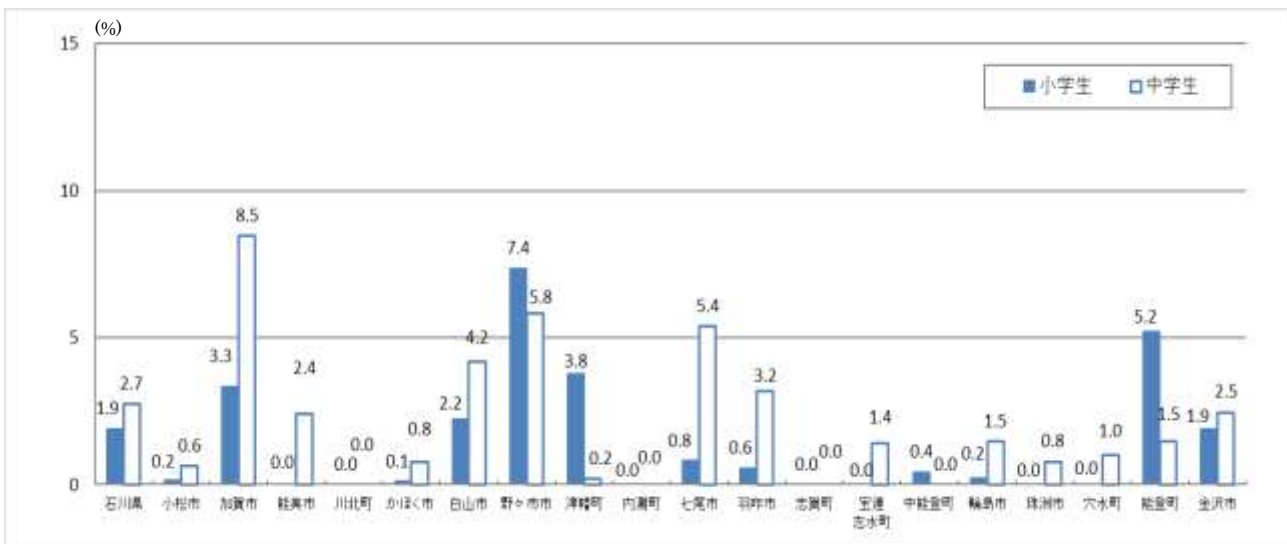
(3) 令和7年度の中学生のむし歯の罹患状況 (%)



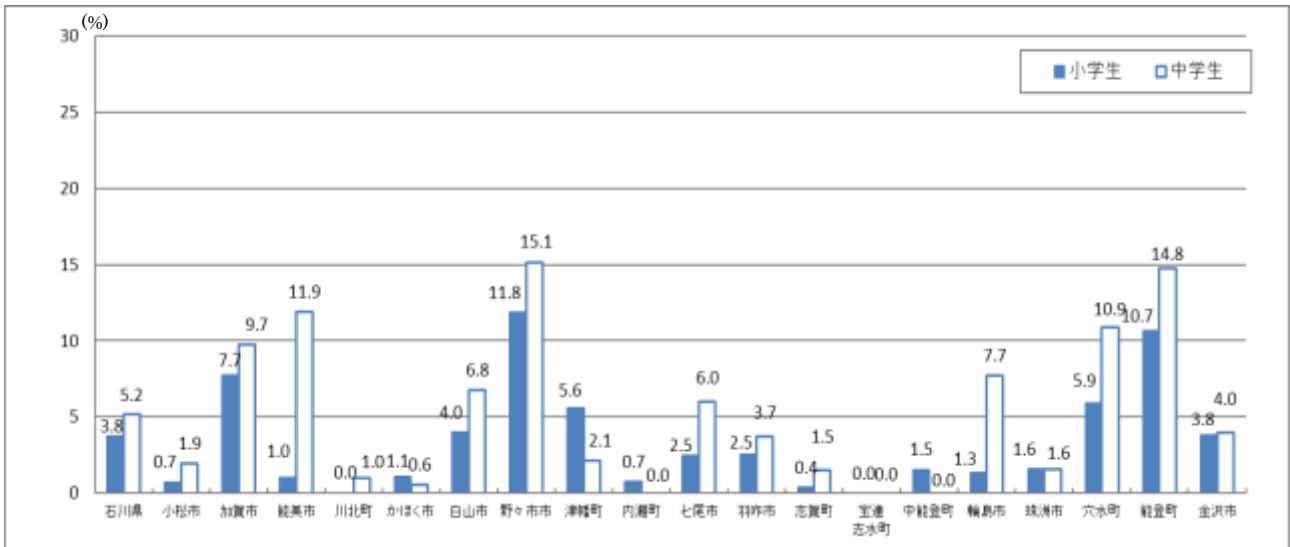
(4) 令和7年度の中学1年生（12歳児）の永久歯の一人平均むし歯数（本）



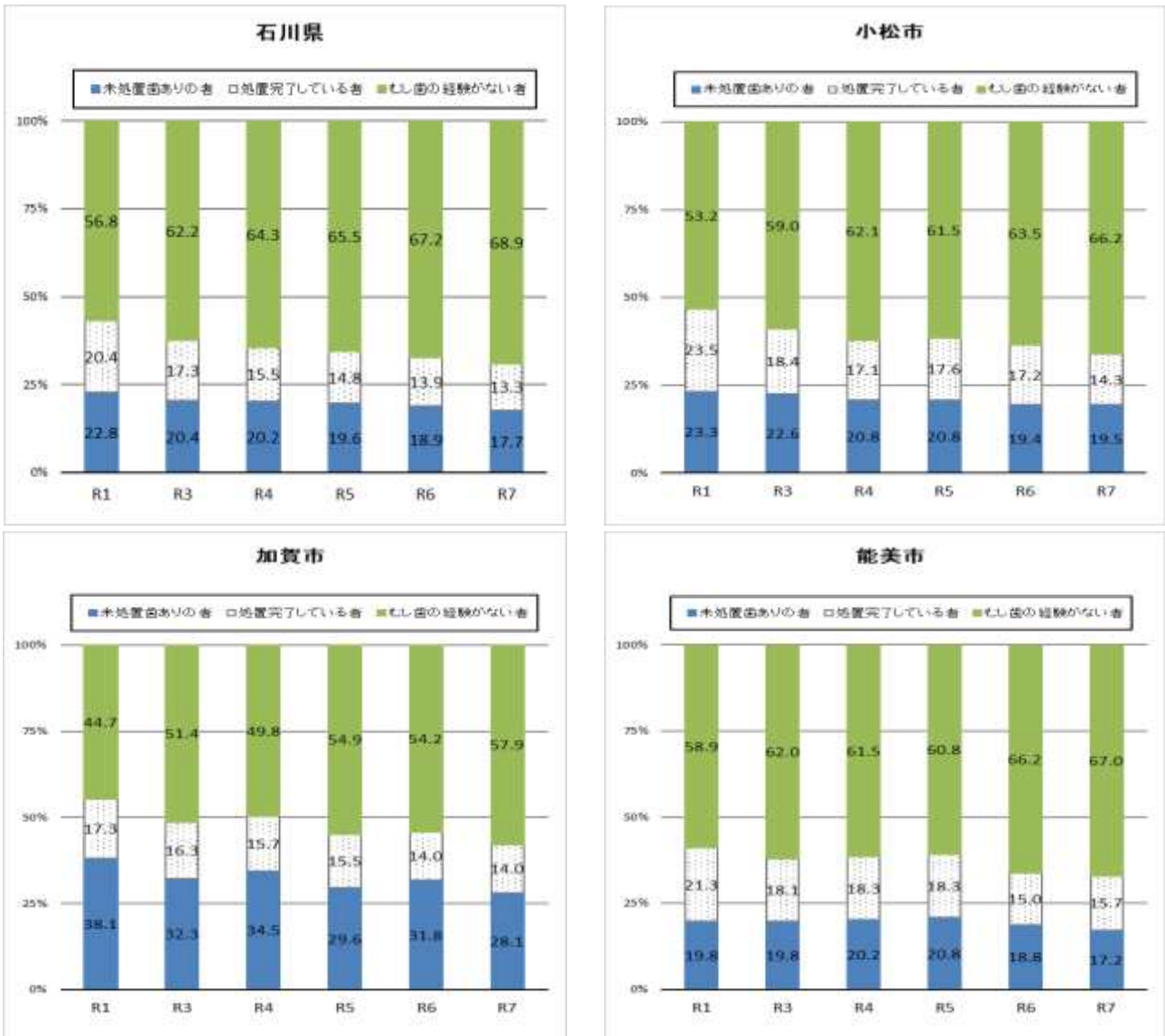
(5) 令和7年度の歯肉炎と判定された者の割合 (%)



(6) 令和7年度の歯垢要受診と判定された者の割合 (%)



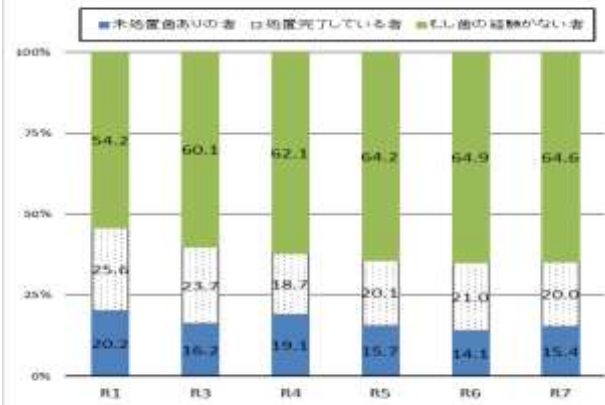
(7) 小学生のむし歯の罹患状況の市町別経年変化 (%) ※R2は新型コロナウイルス感染症の影響により調査なし



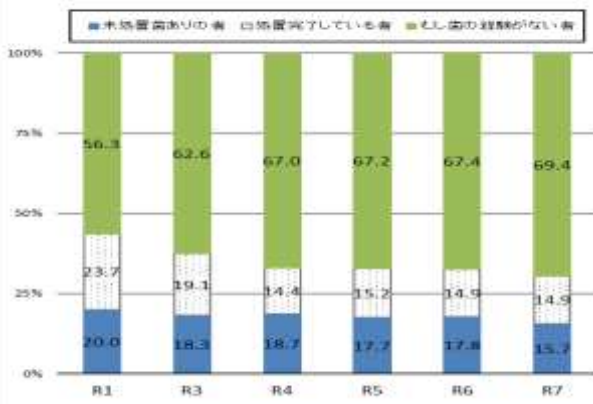
川北町



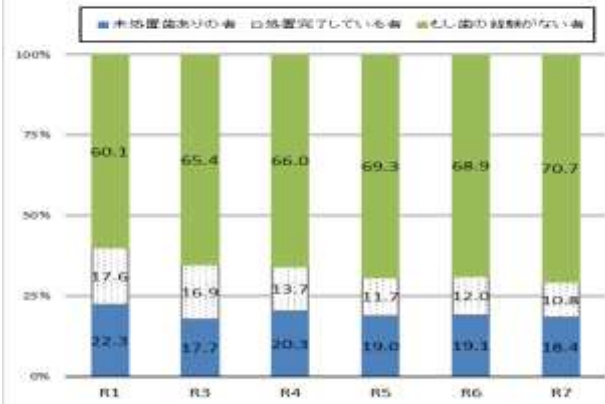
かほく市



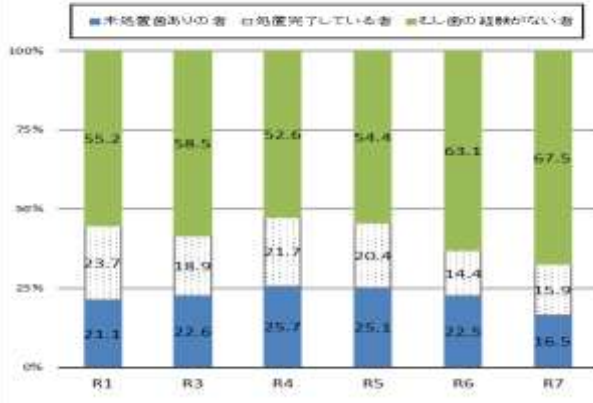
白山市



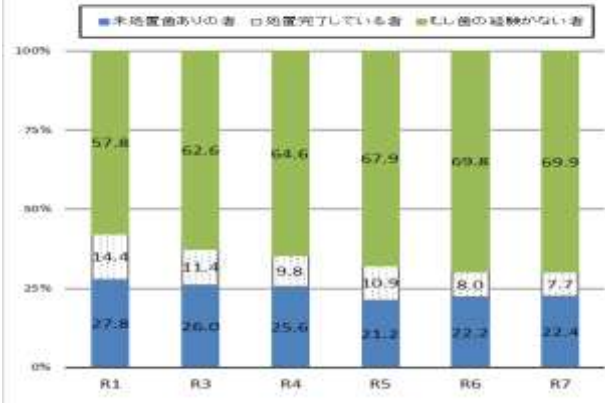
野々市市



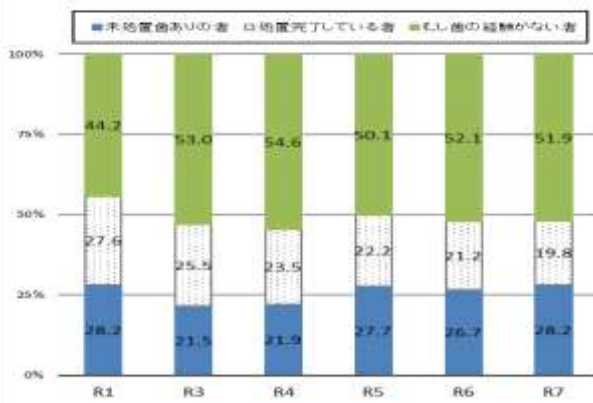
津幡町



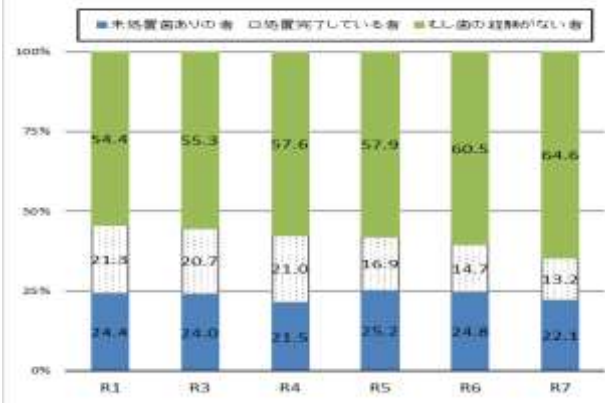
内灘町



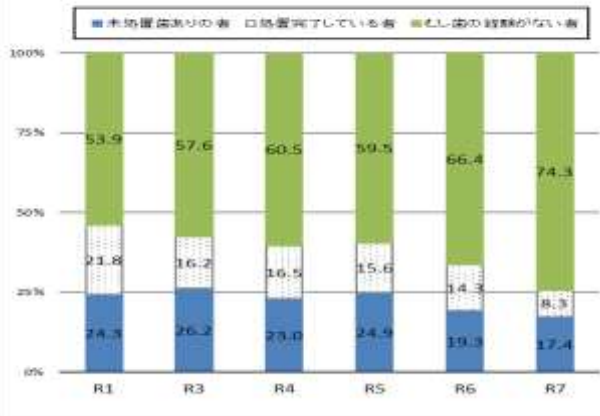
七尾市



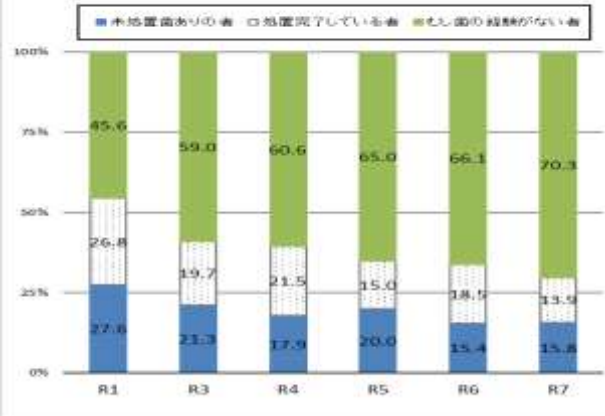
羽咋市



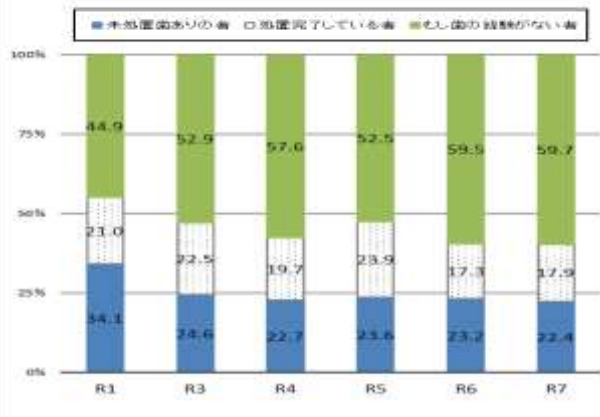
志賀町



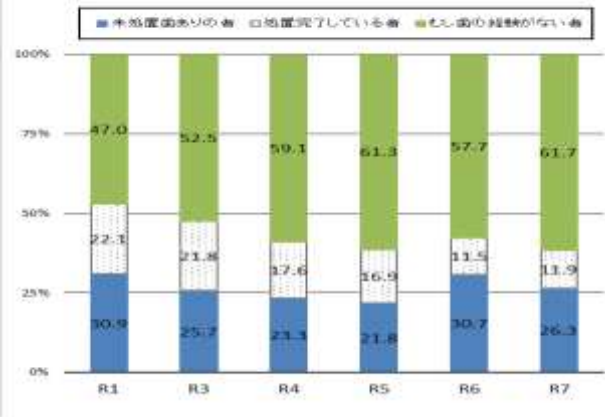
宝達志水町



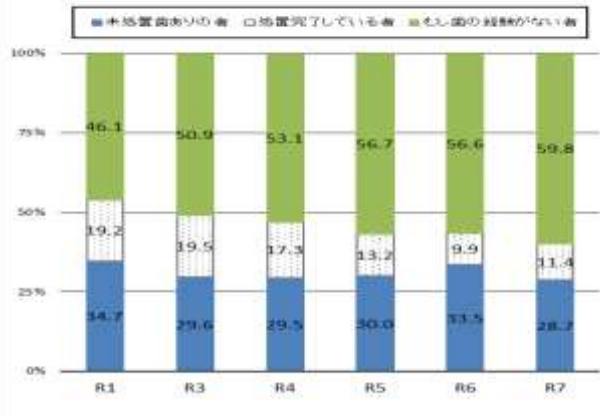
中能登町



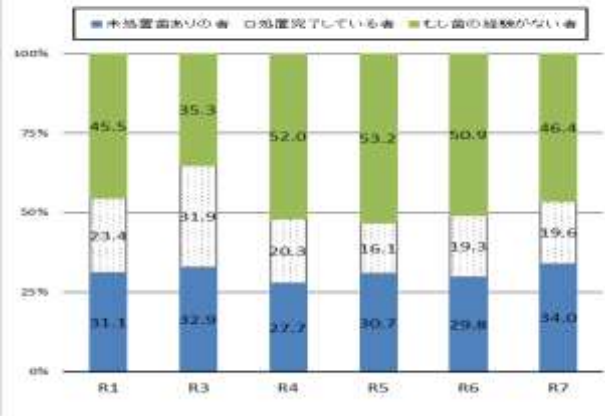
輪島市



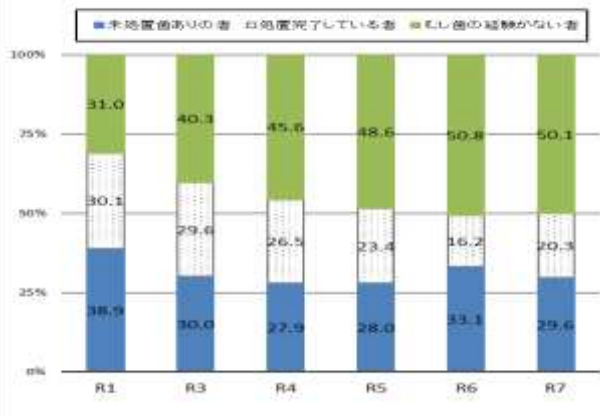
珠洲市



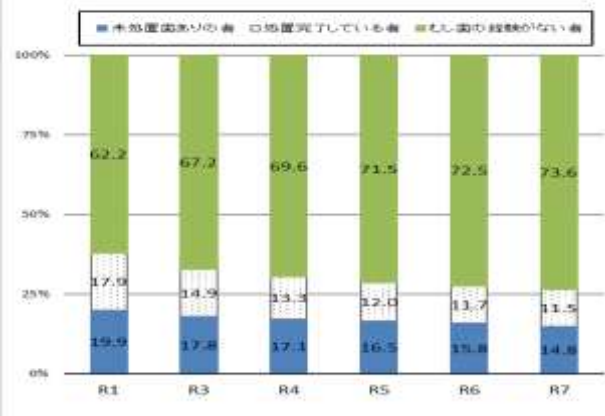
穴水町



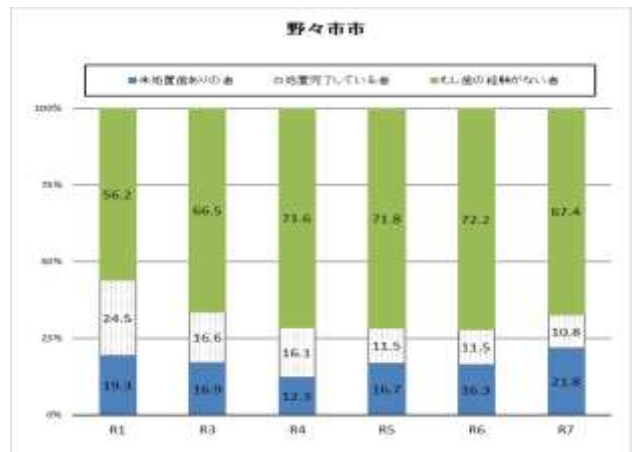
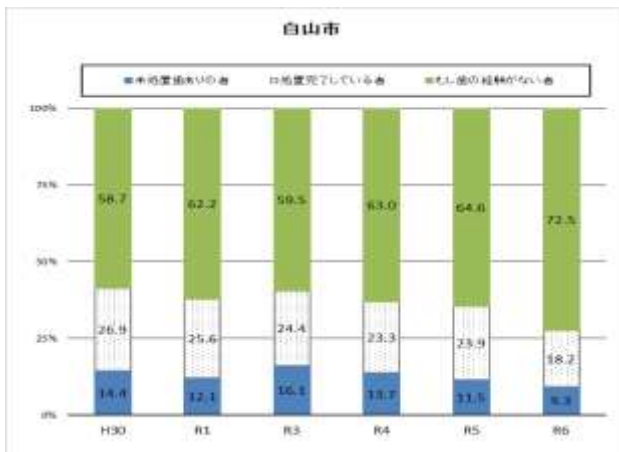
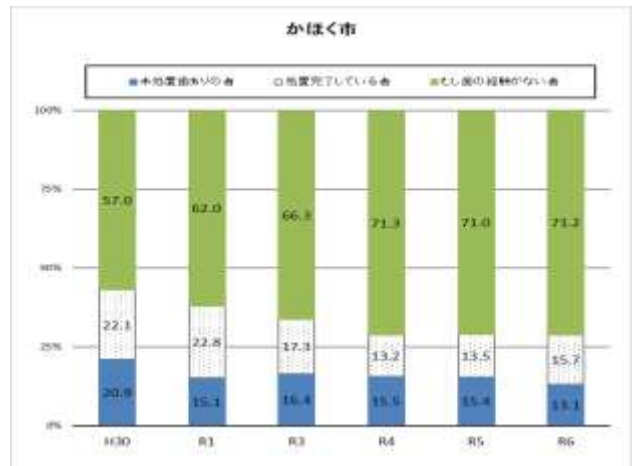
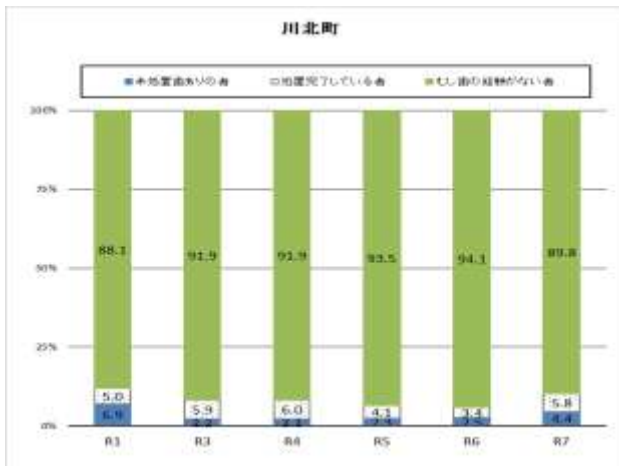
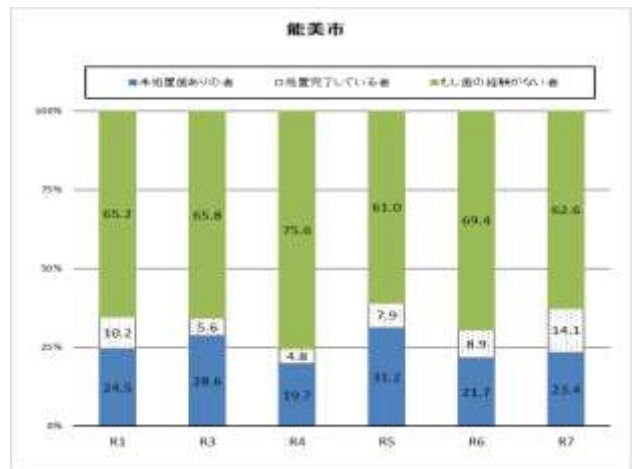
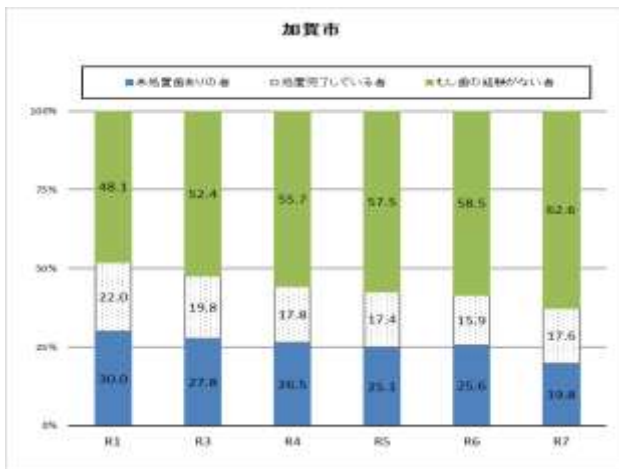
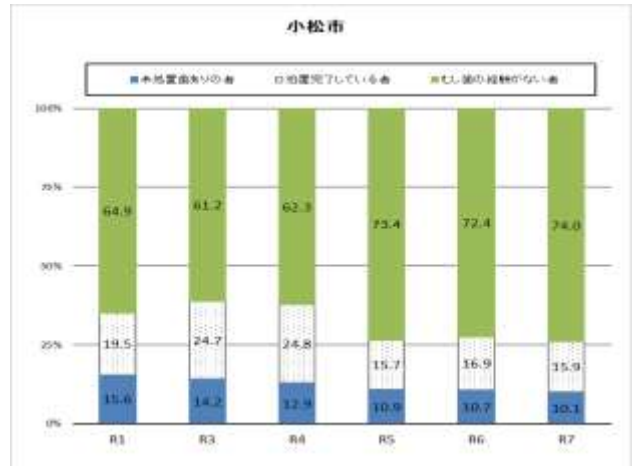
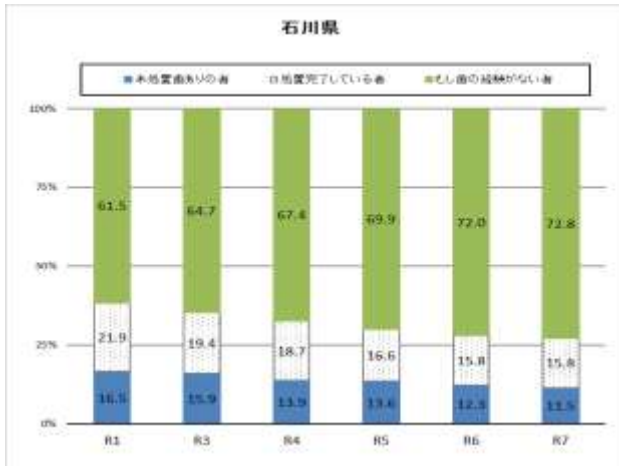
能登町



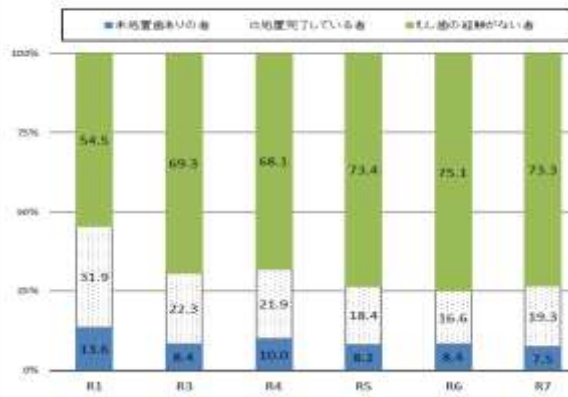
金沢市



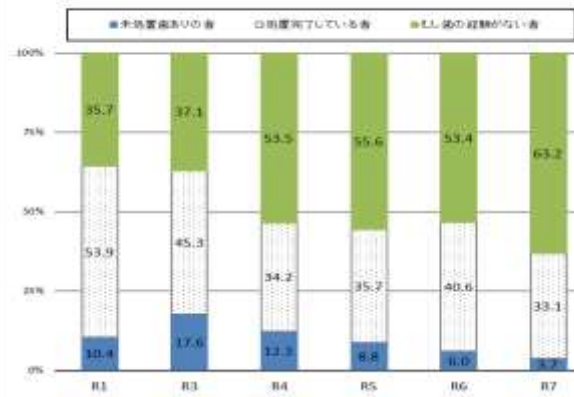
(8) 中学生のむし歯の罹患状況の市町別経年変化 (%) ※R2は新型コロナウイルス感染症の影響により調査なし



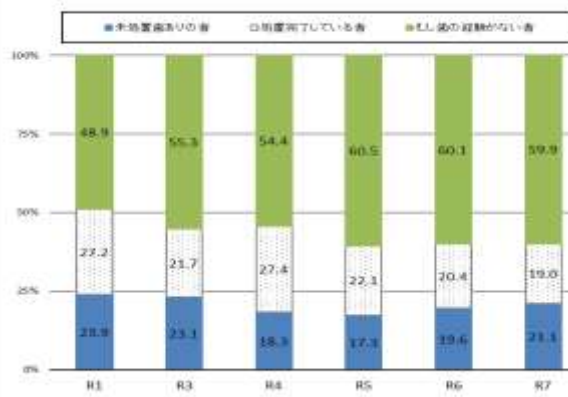
津幡町



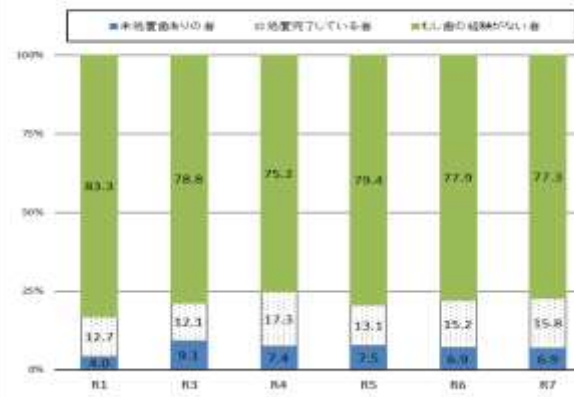
内灘町



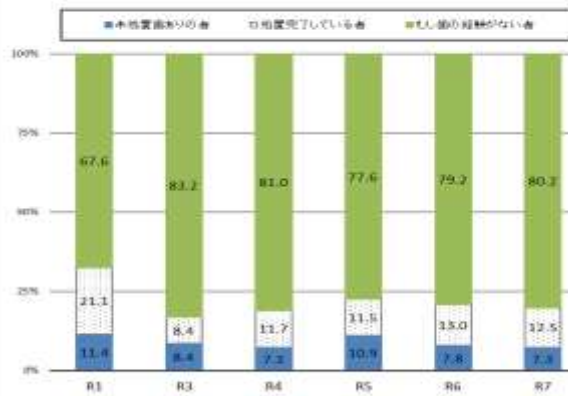
七尾市



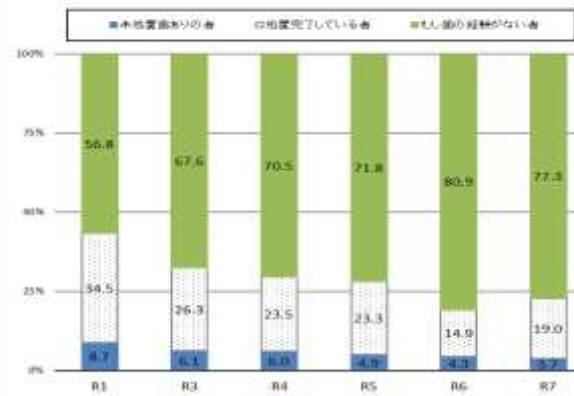
羽咋市



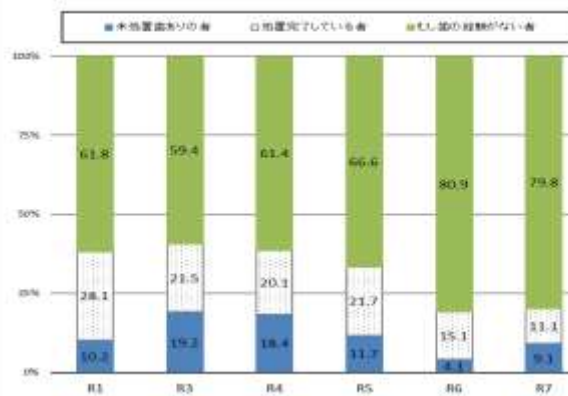
志賀町



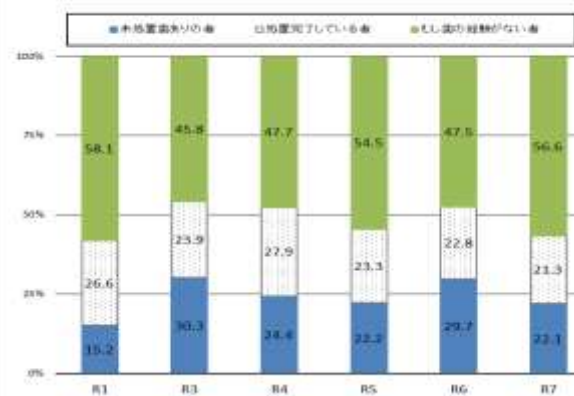
宝達志水町



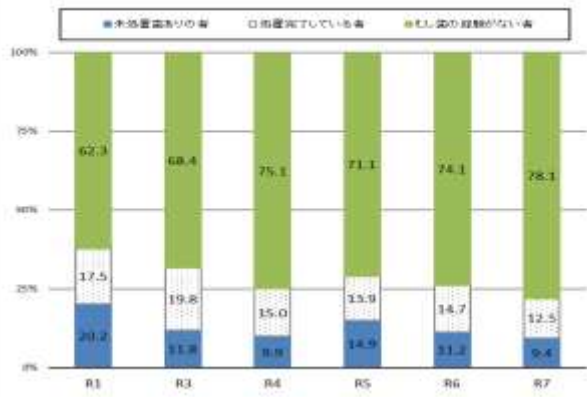
中能登町



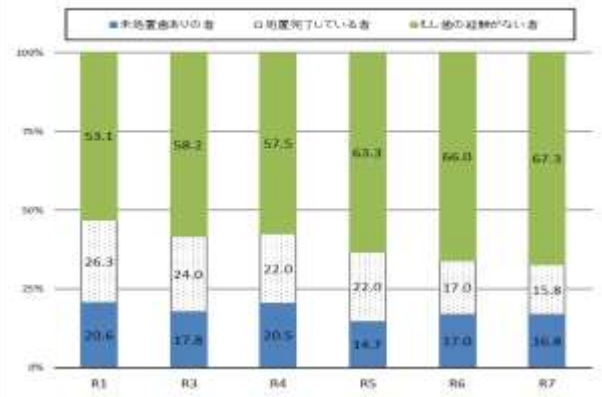
輪島市



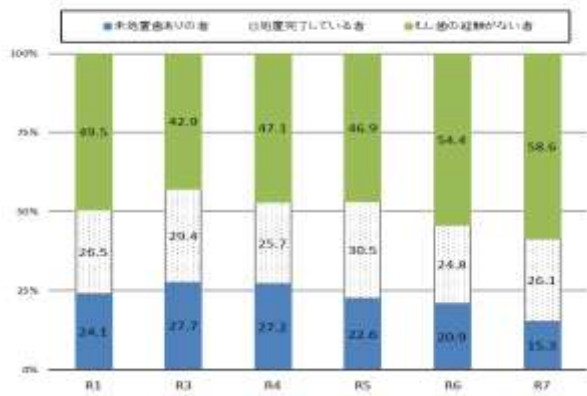
珠洲市



穴水町



能登町



金沢市

